

第 11 回 北九州脳卒中地域連携パス協議会

議事録

日時：2012年11月15日（木） 19:00～19:15

場所：ウエル戸畑中ホール

出席者（敬称略）（順不同）：

副委員長、事務局代表：蜂須賀 研二

副委員長：浜村 明德

事務局幹事：高橋 真紀、事務局担当：杉保 聖子

オブザーバー：重吉 桂司

委員：

| | | |
|---------------|------------|--------|
| 北九州市立医療センター | 脳神経外科 | 勝田 俊郎 |
| 三萩野病院 | 理学療法士 | 宮原 夏子 |
| 北九州総合病院 | 脳神経外科 | 前田 仁史 |
| 九州厚生年金病院 | 理学療法士 | 林 秀俊 |
| 戸畑共立病院 | 脳神経外科 | 辻 武寿 |
| 牧山中央病院 | 内科 | 本村 良次 |
| 正和中央病院 | リハビリテーション科 | 浦上 泰成 |
| 九州労災病院 | 看護師 | 森本 タケ子 |
| 小倉リハビリテーション病院 | リハビリテーション科 | 大野 重雄 |
| 安倍山公園病院 | 内科 | 田中 繁 |
| 東和病院 | 作業療法士 | 河野 修 |
| 芳野病院 | 理学療法士 | 小西 智晴 |
| 北九州八幡東病院 | 理学療法士 | 山下 太 |
| 正和なみき病院 | リハビリテーション科 | 浦上 泰成 |
| 新生会病院 | ソーシャルワーカー | 岩丸 悦子 |
| 戸畑けんわ病院 | リハビリテーション科 | 二見 哲夫 |
| 戸畑リハビリテーション病院 | 作業療法士 | 東谷 成晃 |
| 遠賀中間医師会おかがき病院 | ソーシャルワーカー | 野邊 薫 |
| 北九州市立門司病院 | ソーシャルワーカー | 前田 秀隆 |
| 松井病院 | 内科 | 松井 豊 |

| | | |
|----------|-----------|--------|
| 北九州中央病院 | 脳神経外科 | 愛甲 康隆 |
| 鞍手町立病院 | 理学療法士 | 今永 真之 |
| 香月中央病院 | 理学療法士 | 宮崎 達也 |
| 慈恵曽根病院 | 看護師 | 小川 静江 |
| 八幡慈恵病院 | 院長 | 真角 正 |
| 神原クリニック | 作業療法士 | 泊 政次 |
| 浅木病院 | 作業療法士 | 峯浦 達雄 |
| 町立芦屋中央病院 | 理学療法士 | 福田 明仁 |
| あやめの里 | 理学療法士 | 志田 啓太郎 |
| 伸寿苑 | ソーシャルワーカー | 若月 伸一 |

欠席者：

委員長：石東 隆男

担当理事：井手 誠一郎

| | | |
|------------------|------------|--------|
| 新小文字病院 | 脳神経外科 | 金子 陽一 |
| 健和会大手町病院 | 脳神経外科 | 末廣 栄一 |
| 小倉記念病院 | 神経内科 | 古田 興之介 |
| 新小倉病院 | 脳神経外科 | 吉開 俊一 |
| 九州労災病院 | 脳神経内科 | 荒川 修治 |
| 済生会八幡総合病院 | 脳神経外科 | 岡本 右滋 |
| 北九州市立八幡病院 | 脳神経外科 | 越智 章 |
| 製鉄記念八幡病院 | 脳血管内科 | 藤本 茂 |
| 産業医科大学病院 | ソーシャルワーカー | 野田 雅美 |
| 福岡新水巻病院 | 脳神経外科 | 金 茂成 |
| 健和会大手町病院 | 看護師 | 鴨崎 治美 |
| 東筑病院 | リハビリテーション科 | 前川 信行 |
| 宗像水光会総合病院 | ソーシャルワーカー | 下濱 絵里香 |
| 大原病院 | 介護支援専門員 | 稲富 武志 |
| 宮田病院 | ソーシャルワーカー | 赤星 宣子 |
| 大平メディカルケア病院 | 理学療法士 | 大橋 繫 |
| 相生リハビリテーションクリニック | リハ科 | 牧野 健一郎 |
| 新中間病院 | ソーシャルワーカー | 和田 菊栄 |

九州労災病院門司メディカルセンターについては委員未選定

委員以外が出席した登録医療機関：

製鉄記念八幡病院、産業医科大学病院、新小文字病院、小倉記念病院、北九州市立医療センター、新小倉病院、三萩野病院、北九州総合病院、九州労災病院、済生会八幡総合病院、北九州市立八幡病院、九州厚生年金病院、戸畑共立病院、牧山中央病院、正和中央病院、福岡新水巻病院

小倉リハビリテーション病院、北九州安部山公園病院、東和病院、芳野病院、北九州八幡東病院、正和なみき病院、新生会病院、東筑病院、戸畑けんわ病院、戸畑リハビリテーション病院、遠賀中間医師会おかがき病院、北九州市立門司病院、松井病院、北九州中央病院、大原病院、宮田病院、鞍手町立病院、香月中央病院、大平メディカルケア病院、慈恵曾根病院、相生リハビリテーションクリニック、新中間病院、八幡慈恵病院、神原クリニック、浅木病院、町立芦屋中央病院

あやめの里、伸寿苑

欠席機関：

九州労災病院門司メディカルセンター、健和会大手町病院、宗像水光会総合病院、井出消化器・呼吸器外科医院、

一般出席者：

| | | | | |
|-------------------|----|-----|-------|-----|
| 計画管理病院（急性期病院） | 医師 | 15名 | 医療従事者 | 31名 |
| 入院連携病院（回復期・一般病院等） | 医師 | 9名 | 医療従事者 | 76名 |
| 協力病院・医院等 | 医師 | 1名 | 医療従事者 | 3名 |

計 168 名

司会：北九州脳卒中地域連携パス協議会 副委員長 蜂須賀 研二 先生

議事内容：

北九州脳卒中地域連携パス事務局 幹事、高橋より以下の内容について報告した。

1. はじめに

北九州脳卒中地域連携パス（連携パス）では、集計結果の報告等において急性期病院名を K-アルファベット大文字(K-A, K-B, K-C, …)、連携病院名を N-アルファベット大文字(N-A, N-B, N-C, …)で表記すること、問い合わせがあった際には、原則として当該病院名は通知するが他病院名は通知しないこととする。

2. 連携パス集計結果

これまで事務局に寄せられた急性期病院のすべての連携パスは 1026 件であった。年度別の利用数は、2009 年度 231 件から 2010 年度は大きく増加し 408 件であった。2011 年度については現在のところ 288 件であるが、まだ 2011 年度の連携パスシートのコピーを医師会に送付していない病院があるため、最終的には前年度並みの利用数になる見込みである。発症時平均年齢は 73.8 歳であり、年代別では 70 歳代が最も多く、90 歳以上の発症は全体の 6.2%を占めており、全国集計と比較すると北九州は脳卒中の発症年齢が高い傾向にあると言える。病型別発症割合は脳梗塞が 6 割強、脳出血が 3 割であった。

急性期病院の退院時 NIHSS は平均 5.7 点であった。但し、病院間で値にばらつきがあり、特に重症度の高い病院については入院時の NIHSS を記入している可能性があり、各病院で再度確認していただく必要がある。急性期病院の退院時 Barthel Index(BI)は平均 47.9 点、入院日数は平均 28.3 日であった。

以降は、全ての利用連携パスのうち、急性期病院、連携病院双方のデータが揃っている 652 件についてのデータである。退院時 BI の急性期病院、連携病院の年度別平均点をみると、連携病院の退院時 BI は毎年 70 点前後で変化がないのに対し、急性期病院では 2010 年度 45.8 点から 2011 年度 51.8 点と上昇していた。これは連携パス導入以降、急性期病院でのリハを含めた脳卒中ケアの質が充実したため、患者の退院時の ADL 能力が向上した結果であると推察された。年度別入院日数では、2011 年度は急性期病院で 28.9 日、連携病院で 88.4 日であった。BI 利得 (=連携病院退院時 BI-急性期病院退院時 BI) は 2010 年度 25.3 点、2011 年度 17.6 点、BI 効率 (= [連携病院退院時 BI-急性期病院退院時 BI] / 連携病院入院日数) は 2010 年度 0.39 点、2011 年度 0.20 点であり、急性期病院の退院時 BI の点数上昇の影響を受ける結果であった。連携病院の自宅退院率は 2010 年度 61.5%、2011 年度 64.7%であり、有意ではないものの上昇していた。

3. 連携パス Ver.2.2 について

回復期医療機関用連携パス Ver.2.1 では、生活機能評価の項目は、必須入力項目として BI、任意入力項目として FIM を使用してきたが、これまで事務局に寄せられた回復期医療機関用連携パスは、ほぼ全てで FIM が入力されていたことから、各連携病院に確認した後、連携パス Ver.2.2 として生活機能評価の必須入力項目として FIM を採用し、BI は任意入力項目に変更することとした。また、FIM は入院時ならびに退院時に評価することとした。さらに、FIM の各項目のチェック漏れを防止するため、エクセルファイル版では未チェック

式を導入した。急性期および維持期医療機関用連携パスについては、これまで通り生活機能評価は BI を必須入力項目とし、FIM を任意入力項目とする。

連携パス Ver.2.2 については 2012 年 8 月から運用を開始した。

4. その他

現在、連携外来医療機関（かかりつけ医）で協議会への参加あるいは連携パスを利用している機関は少ないが、診療報酬を算定するための申請手続きの煩わしさがその一因と考えられた。そのため今後、事務局が中心となって計画管理病院、連携入院医療機関、連携外来医療機関の一括申請を予定している。現時点で登録申請を希望する連携外来医療機関はないが、2012 年 12 月末日までに登録申請を希望した病院があった場合は 2013 年 1 月に九州厚生局に申請し、今後は年に 1 度程度の申請を行う予定である。

5. 事務局連絡事項

① 第 12 回北九州脳卒中地域連携パス協議会の開催予定

2013 年 1 月 17 日（木） 19:00～ リーガロイヤルホテル小倉

② これまで同様、パス使用時はコピーを下記北九州医師会へ FAX または郵送をして頂きたい。

〒802-0077 北九州市小倉北区馬借 1-7-1

北九州医師会内 北九州地域連携運営委員会

FAX 093-513-3816

③ 今後の連携パス運用に活かすため、連携パスへのご意見やご要望をお聞きしており、また、今後の協議会の議題等についてのご要望もあれば併せて下記までご連絡頂きたい。

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1

北九州脳卒中地域連携パス協議会事務局（産業医科大学リハ医学講座）

担当職員：杉保 聖子、事務局幹事：高橋 真紀

Fax: 093-691-3529 E-mail: reha@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

文責 北九州脳卒中地域医療連携パス協議会 幹事
高橋 真紀